

2025年6月期

決算説明資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821

目 次

1. 2025年6月期 決算の概要		3
2. セグメント別決算概要		11
3. 2025年6月期 TOPICS		16
4. 2026年6月期 業績予想		23
5. 当社の役割と責任(パーパス)		35
6. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ -PART II -		39
7. 会社概要		44



1 2025年6月期 決算の概要

決算の概要

- 新中期経営計画「グローバルビジョン∞PARTⅡ」の2年目で売上高を除き中計最終年の業績目標をクリア。
- 公共事業関連土木資材とBBSホイールの業績が好調で売上・利益とも過去最高。期中の2件のM&Aにより、特に売上高が増加した。
- 原材料価格の高騰や電気料金の上昇等、引続き経営環境が厳しいなか、生産体制効率化(コストダウン)や販売価格の見直しにより各子会社も合わせて利益率上昇。

決算ハイライト

売上高

64,108 百万円

通期計画
達成率103.4%

粗利益

23,792 百万円

前期比
増加率14.8%

営業利益

12,026 百万円

通期計画
達成率100.2%

EBITDA

15,515 百万円

通期計画
達成率101.4%

経常利益

12,259 百万円

通期計画
達成率102.2%

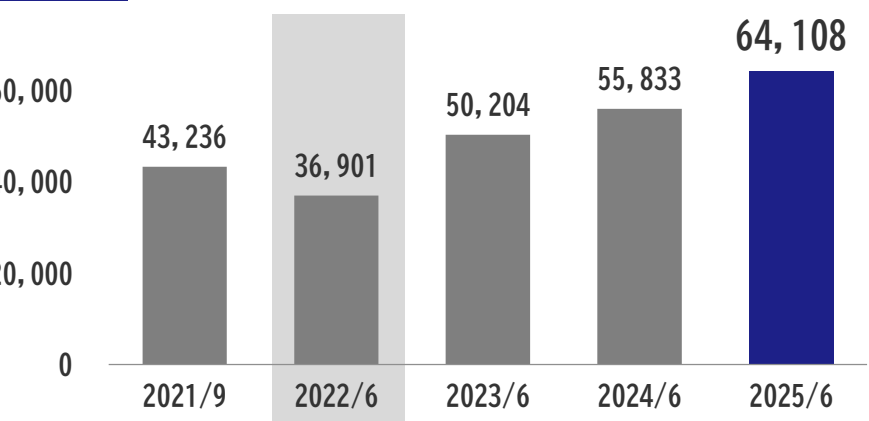
当期純利益

9,489 百万円

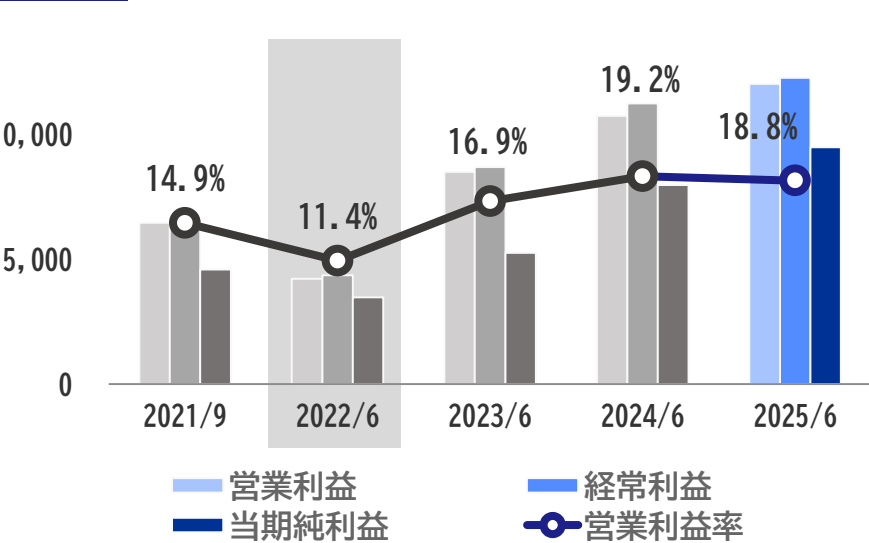
通期計画
達成率113.0%

連結決算サマリ

売上高

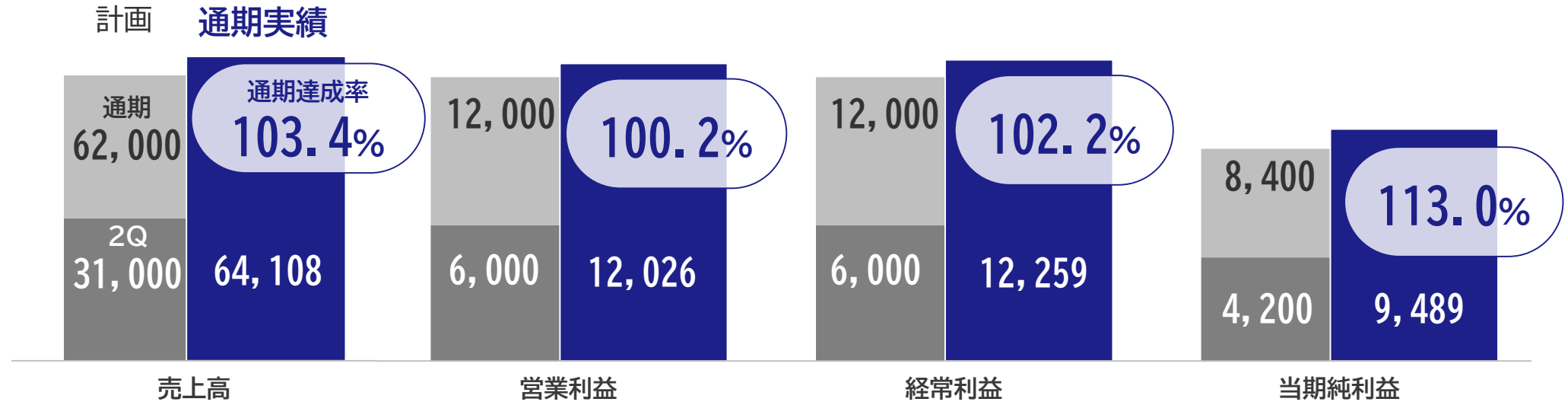


利益



	2024年6月期		2025年6月期		
	実績	売上比	実績	売上比	増減率
売上高	55,833	—	64,108	—	14.8%
営業利益	10,736	19.2%	12,026	18.8%	12.0%
E B I T D A	14,106	25.3%	15,515	24.2%	10.0%
減価償却費	3,370	6.0%	3,489	5.4%	3.5%
経常利益	11,236	20.1%	12,259	19.1%	9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,979	14.3%	9,489	14.8%	18.9%

計画と実績値との比較

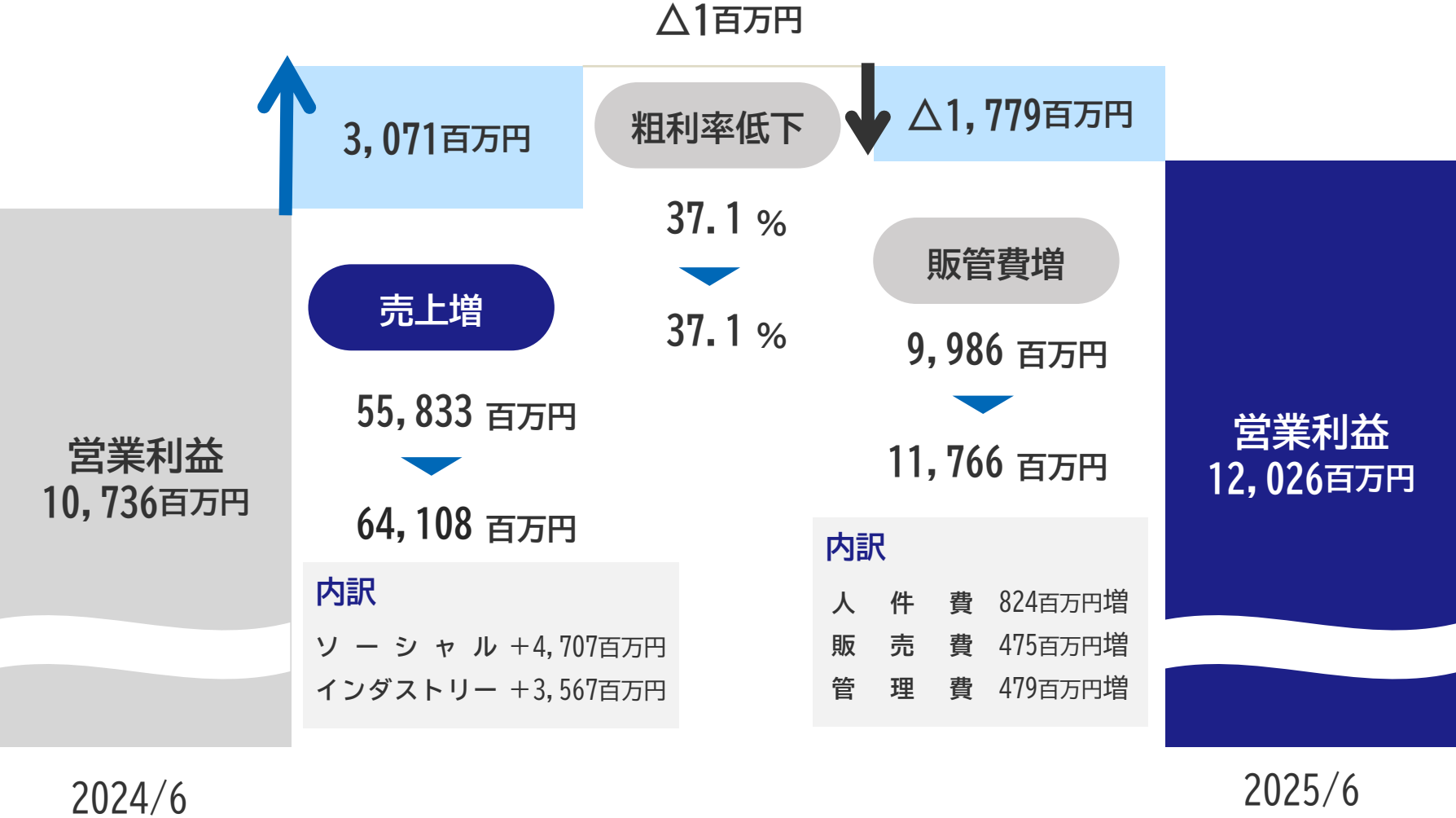


2025年6月期		通期計画※2			
		実績			
			計画	達成率	計画(修正前)
				達成率	
売上高	64,108	62,000	103.4 %	60,000	106.8 %
営業利益	12,026	12,000	100.2 %	11,200	107.4 %
E B I T D A ※ 1	15,515	15,300	101.4 %	14,500	107.0 %
経常利益	12,259	12,000	102.2 %	11,200	109.5 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,489	8,400	113.0 %	7,700	123.2 %

※1：E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

※2：2025年2月14日付で通期計画を上方修正しております。

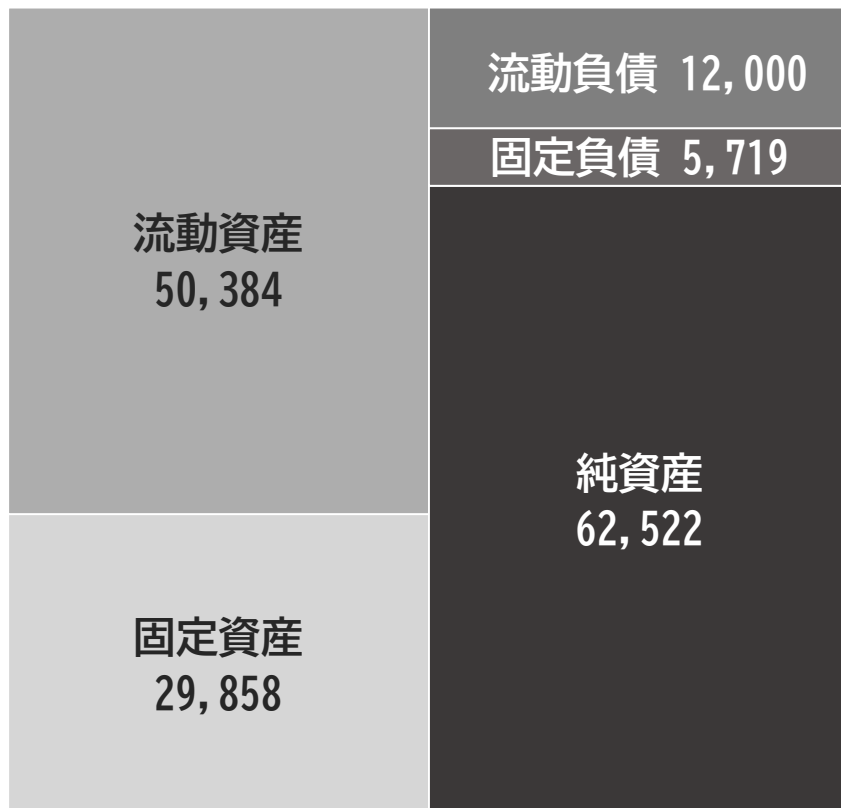
営業利益の増減要因



財政状態

(単位:百万円)

総資産 80,243百万円

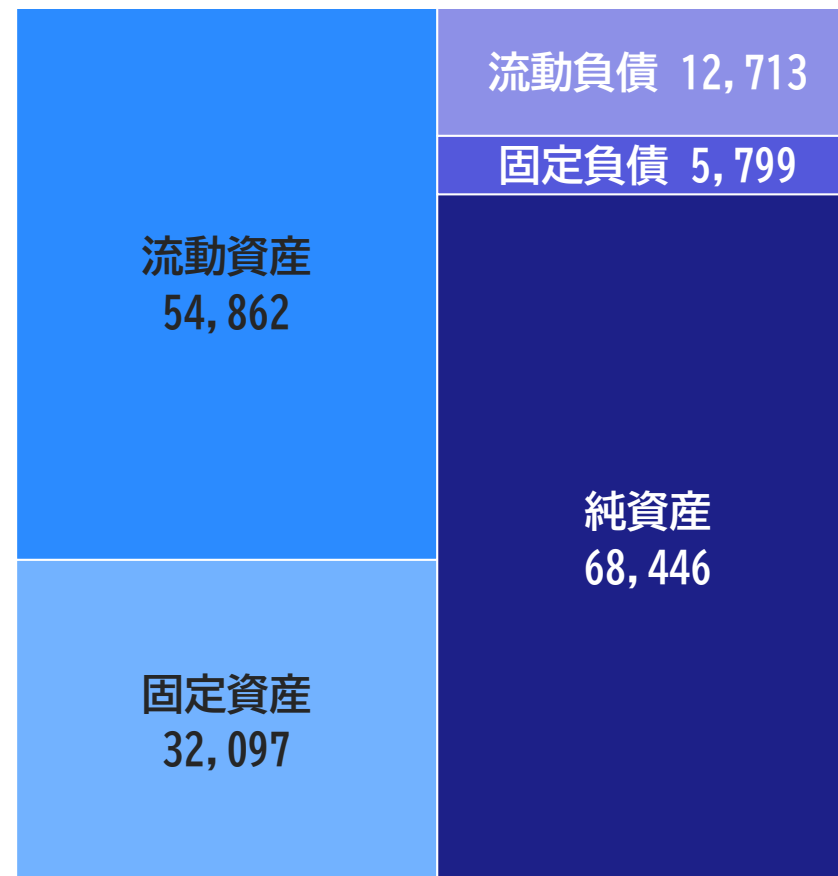


資産

負債・純資産

2024/6 期末

総資産 86,959百万円

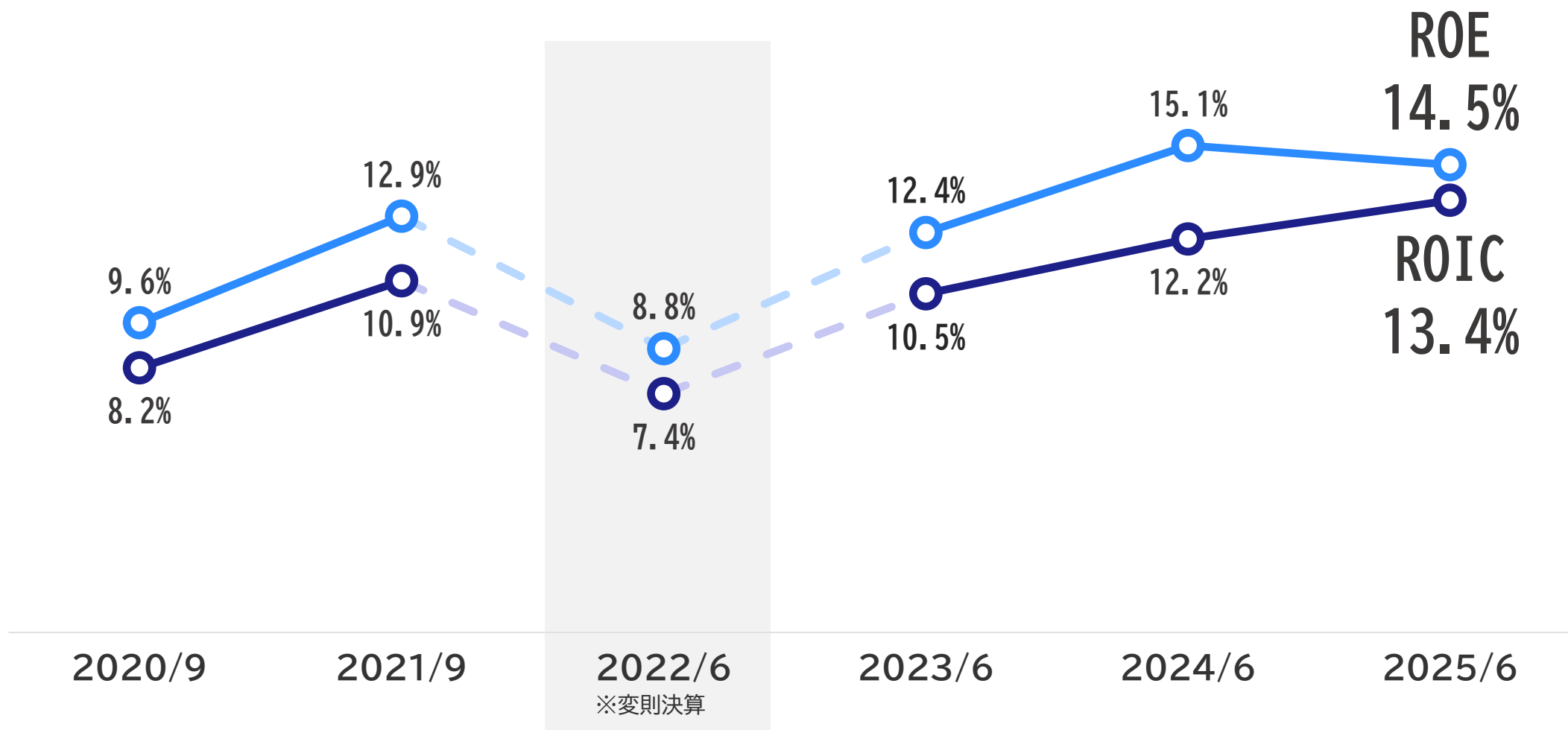


資産

負債・純資産

2025/6 期末

経営指標 – ROE・ROIC推移



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。



2

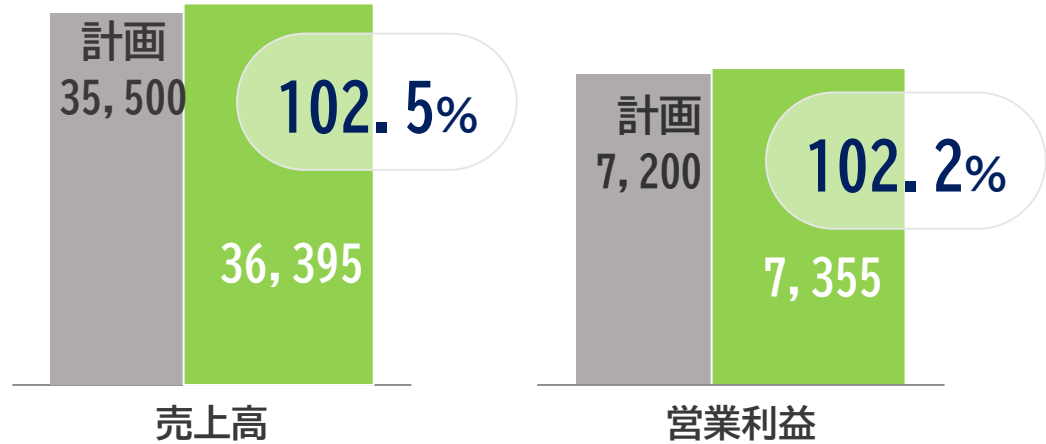
セグメント別決算概要

セグメント別決算概要

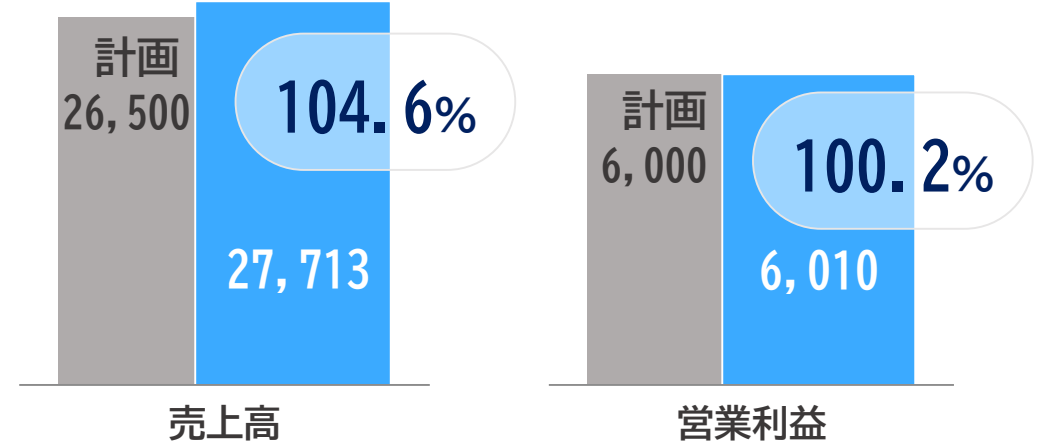
		2024年6月期 実績			2025年6月期 実績			
		金額	営業利益率	構成比	金額	営業利益率	構成比	増減率
売上高	ソーシャル インフラ事業	31,687		56.8%	36,395		56.8%	14.9%
	インダストリー インフラ事業	24,145		43.2%	27,713		43.2%	14.8%
	合 計	55,833		100.0%	64,108		100.0%	14.8%
営業利益	ソーシャル インフラ事業	6,755	21.3%	57.0%	7,355	20.2%	55.0%	8.9%
	インダストリー インフラ事業	5,101	21.1%	43.0%	6,010	21.7%	45.0%	17.8%
	小 計	11,857	—	100.0%	13,365	—	100.0%	12.7%
	全 社 ・ 消 去	△ 1,120	—	—	△ 1,339	—	—	—
	合 計	10,736	19.2%	—	12,026	18.8%	—	12.0%

セグメント別計画に対する達成率

ソーシャルインフラ事業



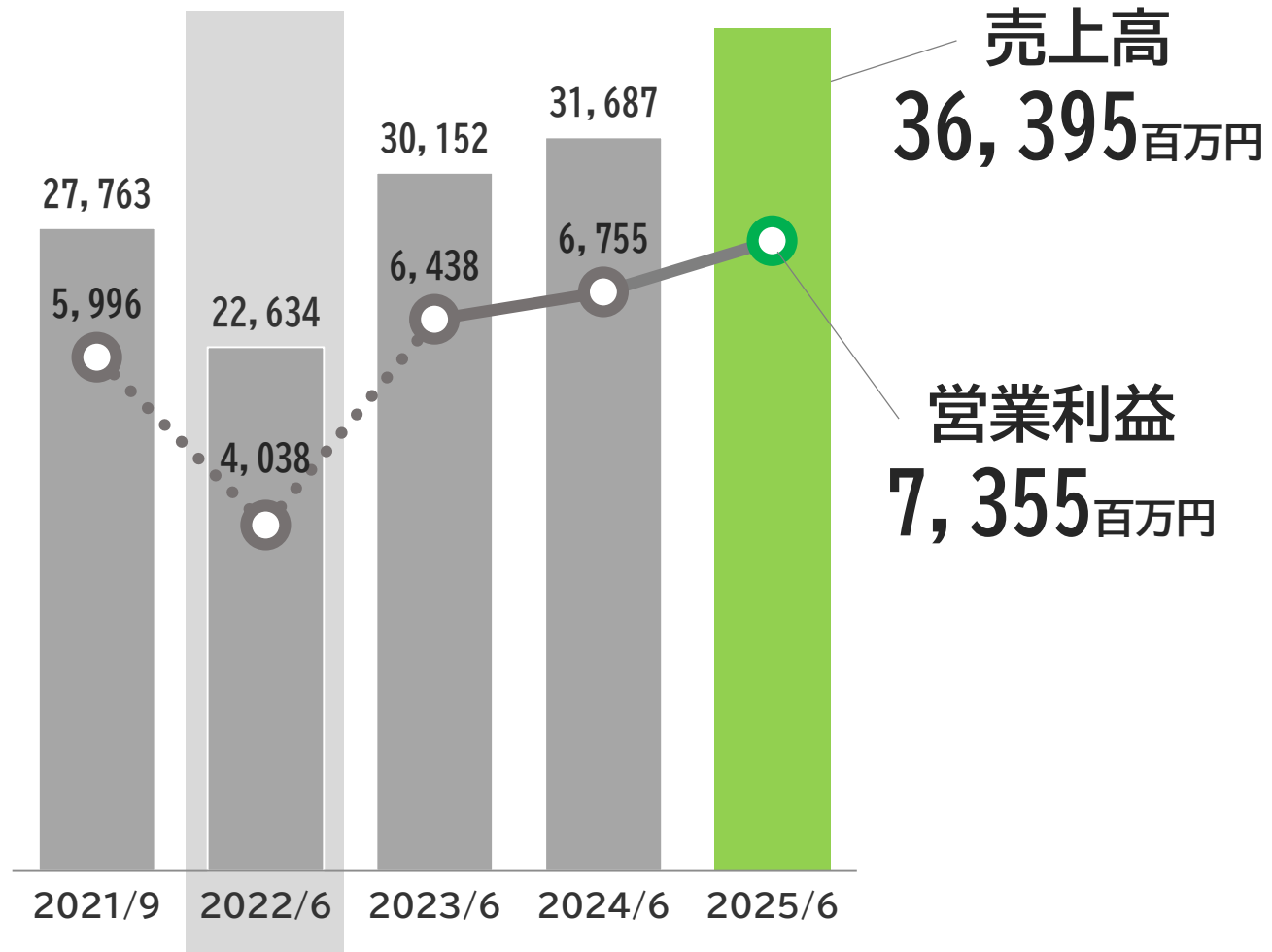
インダストリーインフラ事業



2025年6月期

2025年6月期		実績	計画		実績	計画			
			金額	達成率		金額	達成率		
ソーシャルインフラ事業		売上高	36,395	35,500	102.5 %	営業利益	7,355	7,200	102.2 %
インダストリーインフラ事業			27,713	26,500	104.6 %		6,010	6,000	100.2 %
全社・消去							△1,339	△ 1,200	—
合計			64,108	62,000	103.4 %		12,026	12,000	100.2 %

セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



プラス要因

- 2025/6期は、年間を通して主力の公共工事事業において、盛土補強材・河川護岸材等が堅調に推移した。
- 子会社の業績も概ね順調に推移し、特に獣害対策製品、沖縄防衛関係が好調であった。
- 新たにグループ化した犀工房、前田工織産資の業績についても、順調に推移した。

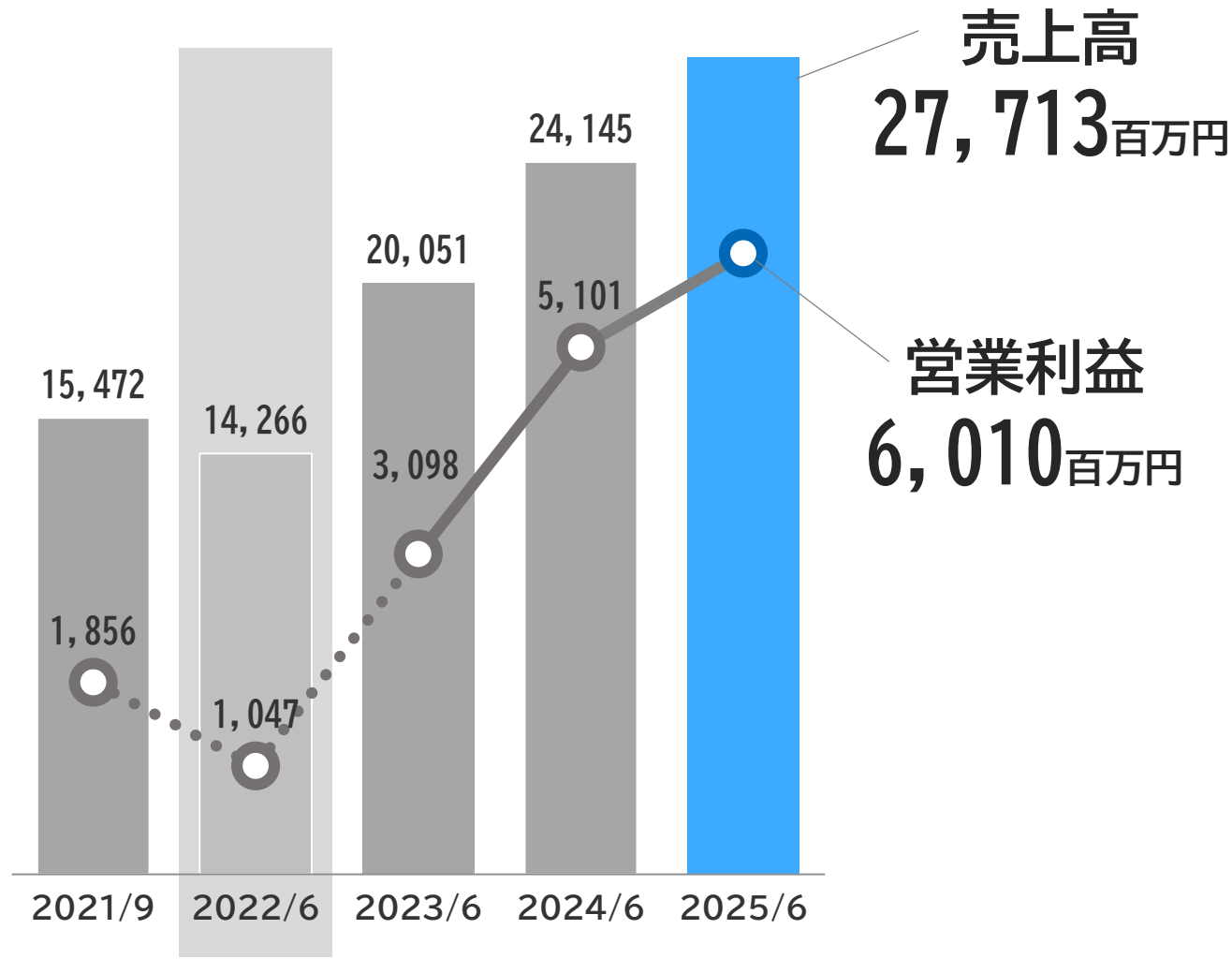
マイナス要因

- 子会社の未来のアグリのうち、園芸用ハウスや酪農用製品などの農業資材の受注が伸び悩んだ。

※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。



セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業



プラス要因

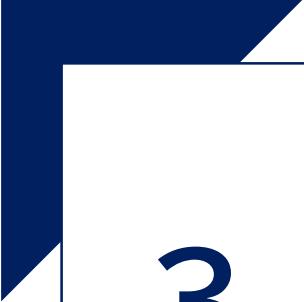
- BBSジャパンの業績は順調に推移した。
- BBS工場の生産効率化(工場稼働率UP、自動化、省力化)が利益率向上に寄与した。
- 未来コーセンでは、半導体市況の回復を受けワイピングクロスは順調に推移した。

マイナス要因

- BBSジャパンにおいて、退職給付に係る引当を計上した。(今回限り)
- BBSドイツ子会社について、第4四半期において、在庫評価見直しにより利益率は低下した。

※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。





3 2025年6月期 TOPICS

犀工房・前田工織産資子会社化

2024年12月



犀工房

事業内容

幼稚園、保育園用備品、各種遊具等の企画・設計・製造・販売



所在地 滋賀県大津市上田上平野町337-3

設立 1991年4月12日

資本金 20百万円

従業員 26名

2025年4月



前田工織産資

事業内容

合成樹脂製品、土木資材、建築資材及び配管資材の製造・加工・販売



所在地 東京都文京区湯島3-39-10

設立 1964年10月1日

資本金 400百万円

従業員 165名



自己株式の取得完了

取得の目的

株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため。

取得の内容(概要)

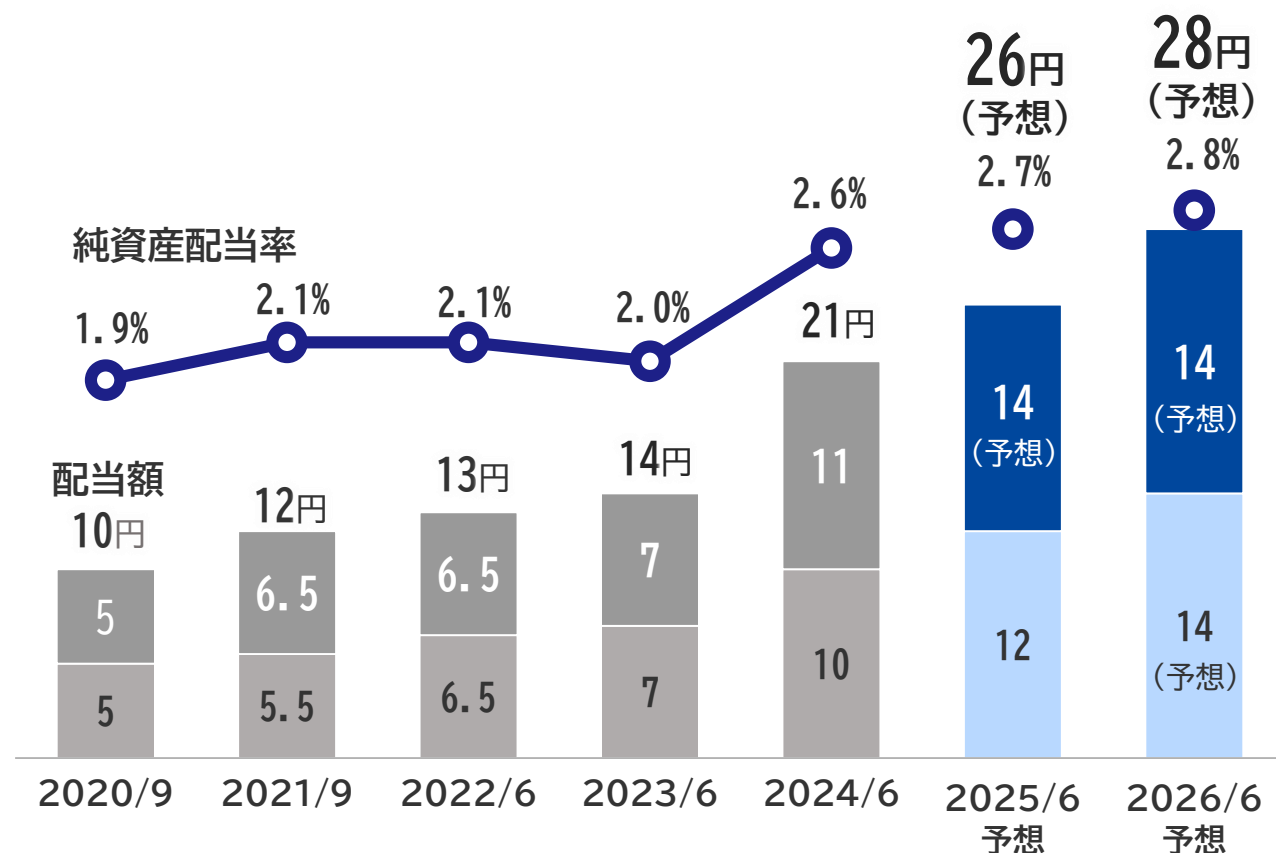
取得しうる株式の総数	100万株(上限) 発行済株式(自己株式を除く)に対する割合1.47%
株式の取得価額の総額	20億円(上限)
自己株式取得の期間	2025/2/17~2025/6/30

取得の実績(2025/6/13までの累計実績)

取得した株式の総数	1,000,000 株
株式の取得価額の総額	1,895,021,100 円

配当政策

累進配当を継続



※1 : 2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。
※2 : 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年6月期以前の配当額は、株式分割の影響を考慮して記載しております。
※3 : 2025年8月8日付で配当予想を修正しております。



2025/6期

中 間 12円 (前年比 + 2円)

期 末 予 想 14円 (前年比 + 3円)

通 期 予 想 26円 (前年比 + 5円)

2026/6期

中 間 予 想 14円 (前年比 + 2円)

期 末 予 想 14円 (前年比 + 0円)

通 期 予 想 28円 (前年比 + 2円)

BBSホイールワンメイク供給/新素材「FORTEGA」販売開始

2022年シーズンより
鍛造ホイールを**ワンメイク**供給



Formula 1®



NASCAR®

高剛性を保ちつつ**軽量化**を実現
BBS独自開発の新素材



アルミニウム合金新素材

FORTEGA

災害復旧関連製品

石川県産木材チップ利活用型植生工

石川県森林協同組合と協働し開発 → 石川県内で施工

地産地消 × 早期復旧 を実現



石川県津幡町 林道法面復旧工事

製品ラインアップ

生育促進型植生資材
フルボシシリーズ



土壌流出防止材
ガードレインシリーズ



ミドリノシリーズ



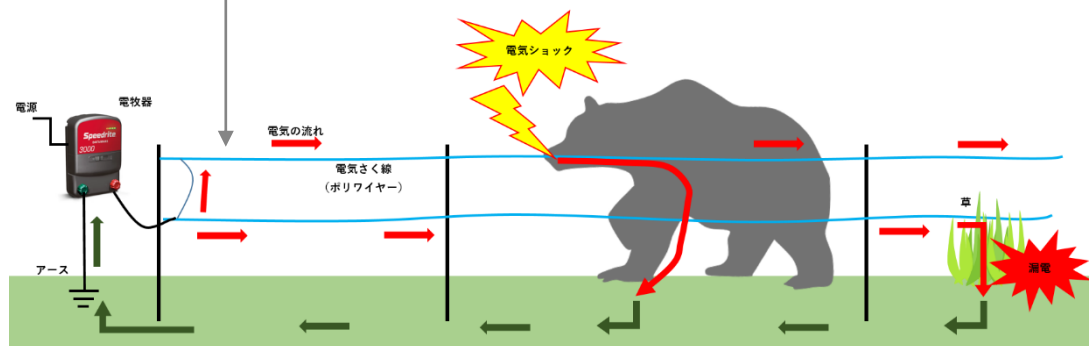
獣害対策製品

クマ対策用電気さく線「ブルーキングワイヤー」



野生のクマの行動をコントロール
急増するクマ被害を防ぐ

電牧器から流した電流に触れる
↓
大きなショックを与え危険性を認識



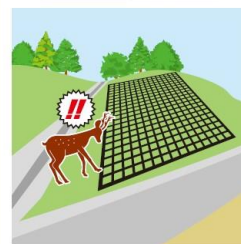
獣害対策用特殊樹脂ネット工「イノシカスライダー」



「滑らせて近寄らせない」
新発想の獣害対策

- ・高い表面滑性で鹿や猪などの偶蹄目(ぐうていもく)動物の歩行を困難に
- ・法面緑化効果で獣害から植生を保護

法面緑化



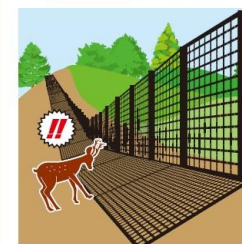
果樹・植樹回り

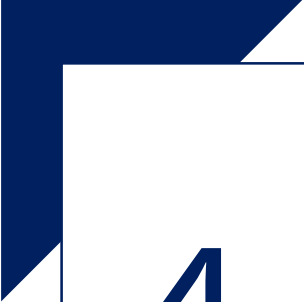


鉄道・道路周辺



柵との併用





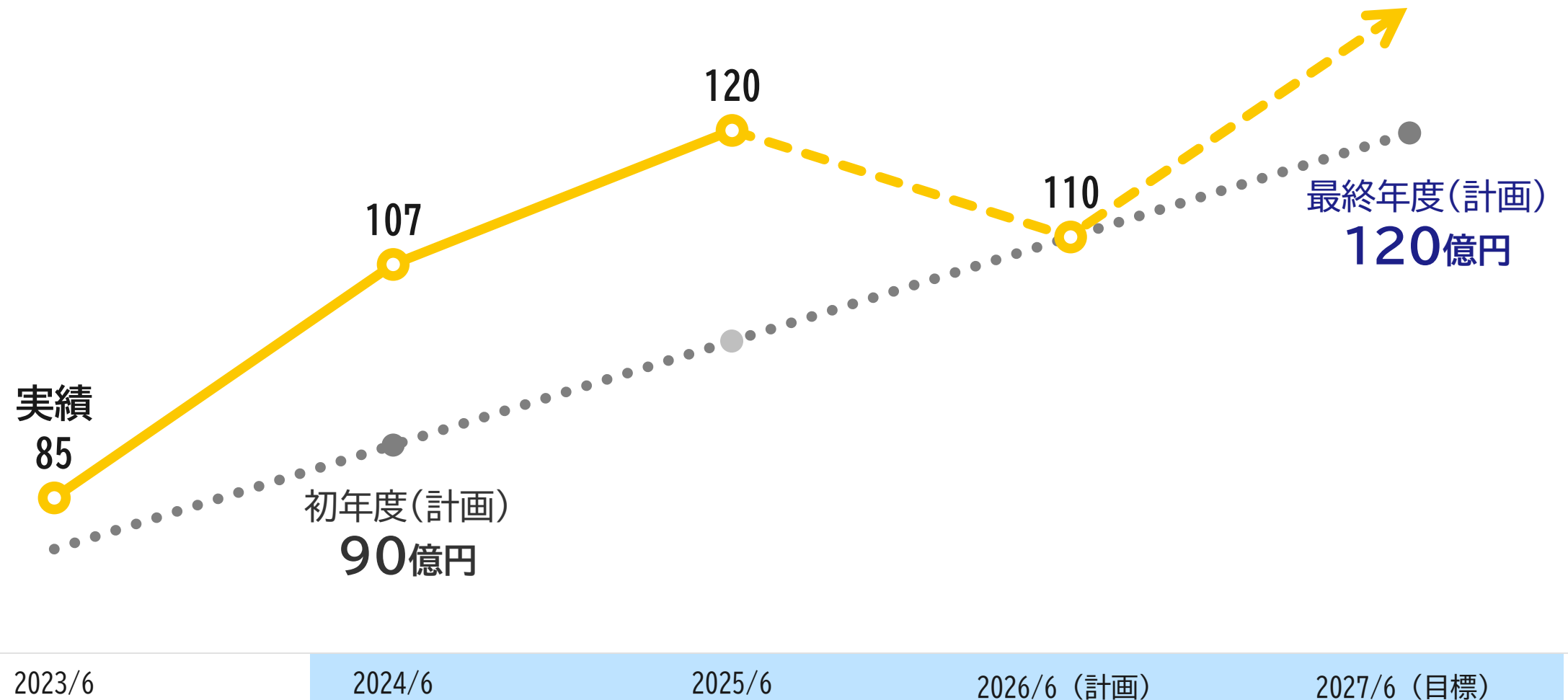
4 2026年6月期 業績予想

業績予想(連結)

	2025年6月期 実績		2026年6月期計画			
	2Q	通期	2Q		通期	
			金額	増減率	金額	増減率
売上高	32,530	64,108	36,200	11.3 %	67,500	5.3 %
営業利益	7,152	12,026	6,150	△14.0 %	11,000	△8.5 %
E B I T D A	8,800	15,515	8,000	△9.1 %	14,700	△5.3 %
経常利益	7,224	12,259	6,150	△14.9 %	11,000	△10.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,939	9,489	4,250	△14.0 %	7,600	△19.9 %

現在の中計における営業利益の推移と見込みについて

(単位:億円)



グローバルビジョン∞ PART-II-

前田工繊グループの新たな営業管理体制→“予材管理”

- 予材管理 …将来の案件を“見える化” 過去の数字ベースから未来の数字ベースに
- 予材は全て社内にオープン **年5%以上の成長を目指せる予材造り**
- 予材が正しく資産化 → **営業の心に余裕と自信、そして将来を読む力**
→さらに意欲的に行動する(**好循環**が生まれる)
- 予材が蓄積されればされるほど、**安定して営業目標が達成**できる

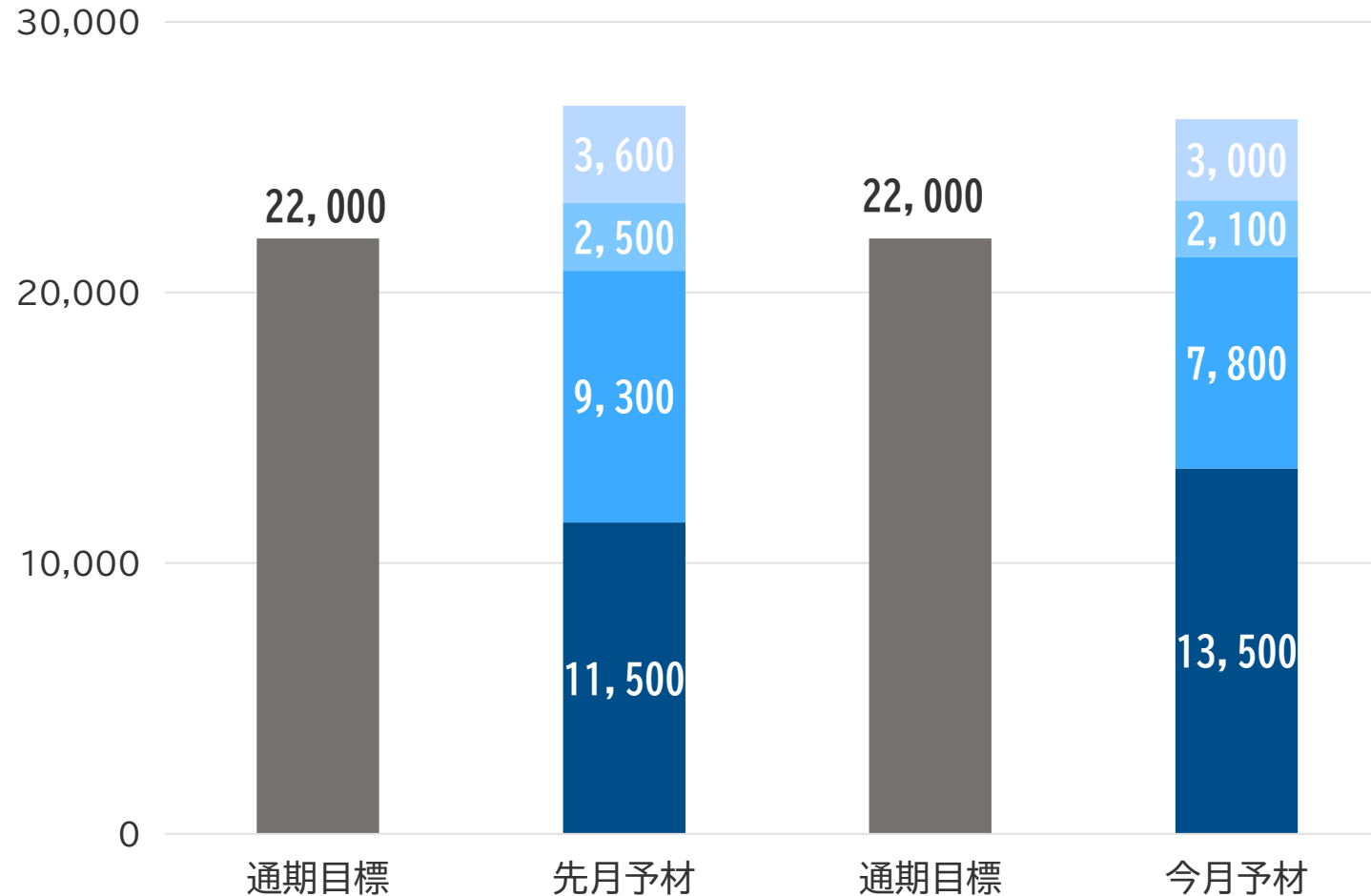
∴月次進捗と予材状況を確認、
今期も来期も予測し、手を打つ
→ **営業会議の中身も変化（定量的な議論）**

具体的には

(単位:百万円)

〇〇期 ◇月状況

■目標 ■実績 ■見込 ■仕掛 ■白地



〇〇期 ◇月状況

目標達成まで8,500百万円

見込 7,800百万円

達成率: 91.7%

実績 + 見込

目標達成率 96.8% (先月 94.5%)

実績 + 見込 + 仕掛

目標達成率 106.4% (先月 106.0%)

業績予想(セグメント別)

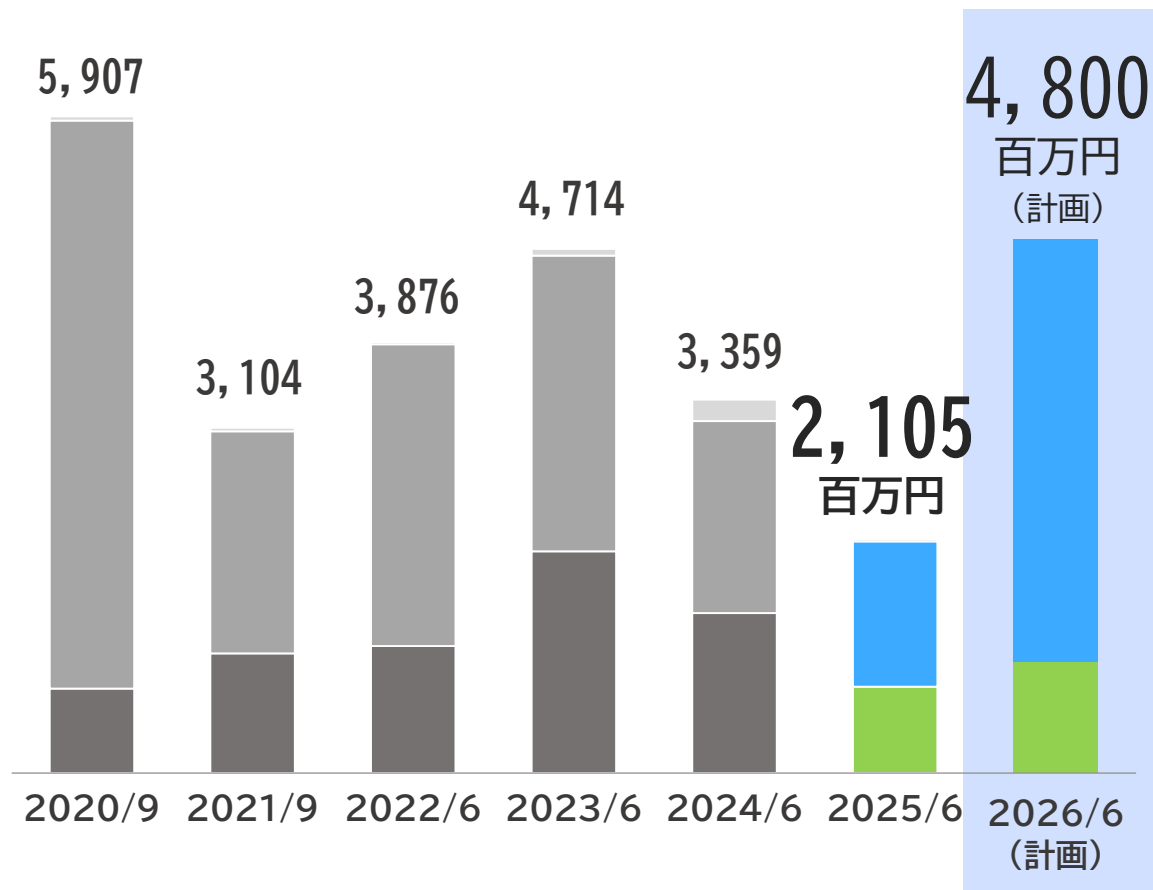
		2025年6月期 通期実績	2026年6月期	
			通期計画	増減率
ソーシャル インフラ事業	売上高	36,395	44,000	20.9%
	営業利益	7,355	7,750	5.4%
インダストリー インフラ事業	売上高	27,713	23,500	△15.2%
	営業利益	6,010	4,700	△21.8%
全社・消去	営業利益	△1,339	△1,450	—
合 計	売上高	64,108	67,500	5.3%
	営業利益	12,026	11,000	△8.5%

設備投資額・減価償却費予想

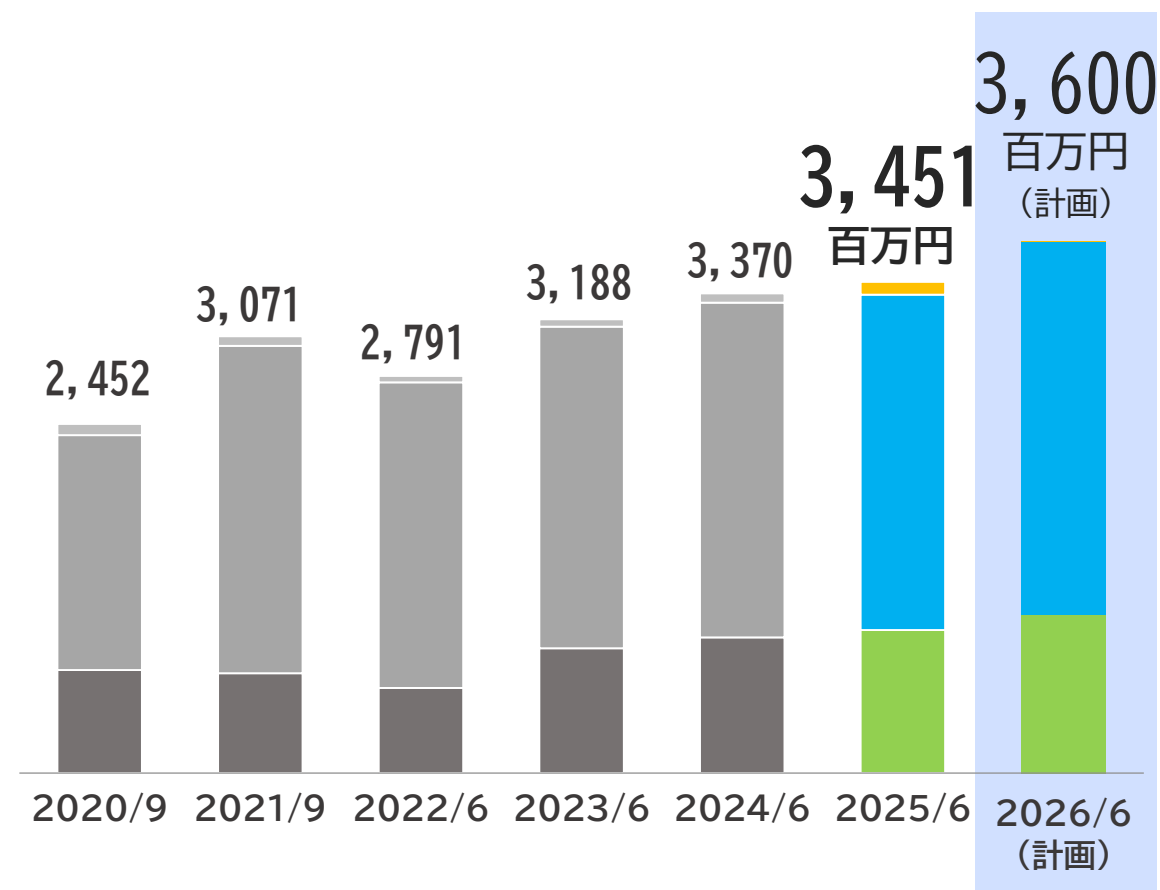
(単位:百万円)

■ ソーシャル
■ インフラ事業
■ インダストリー
■ インフラ事業
■ 全社

設備投資額

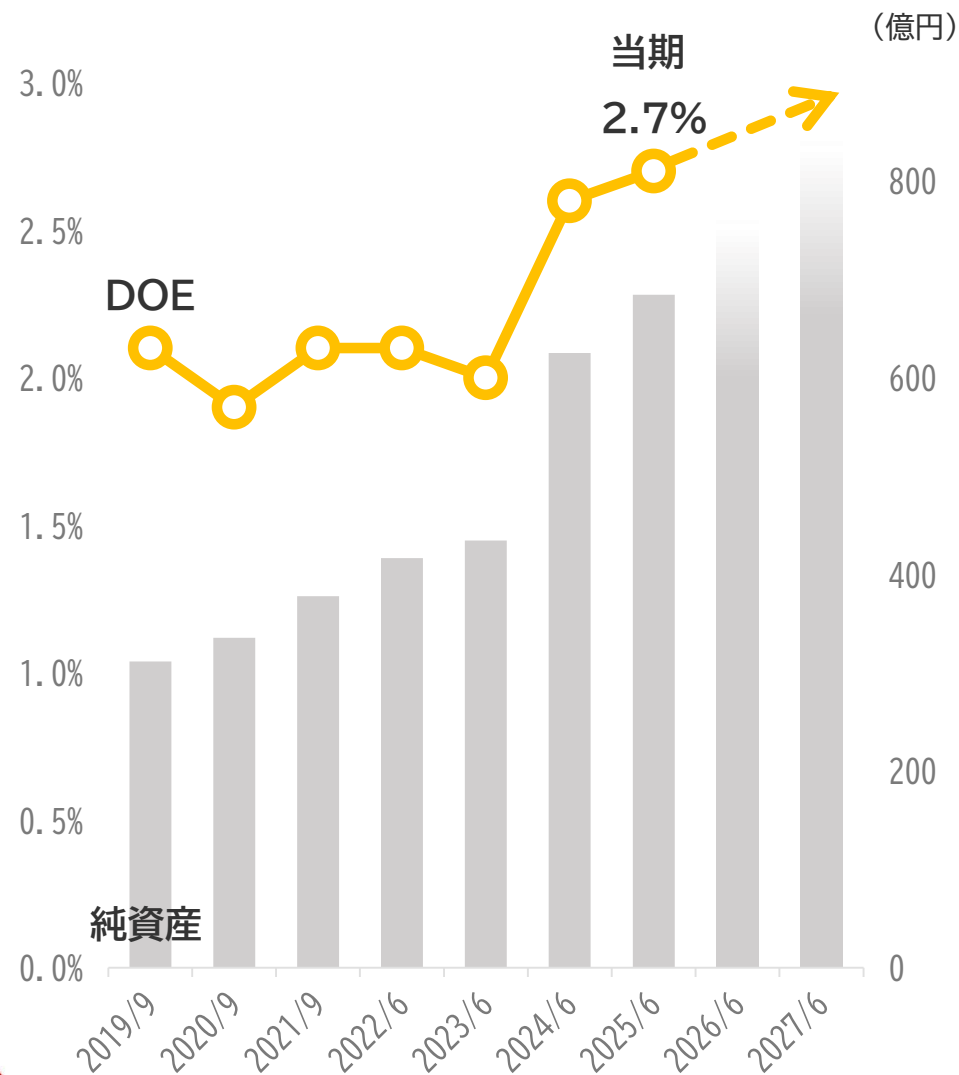


減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

株主還元策に関する基本方針



株主に対する利益還元

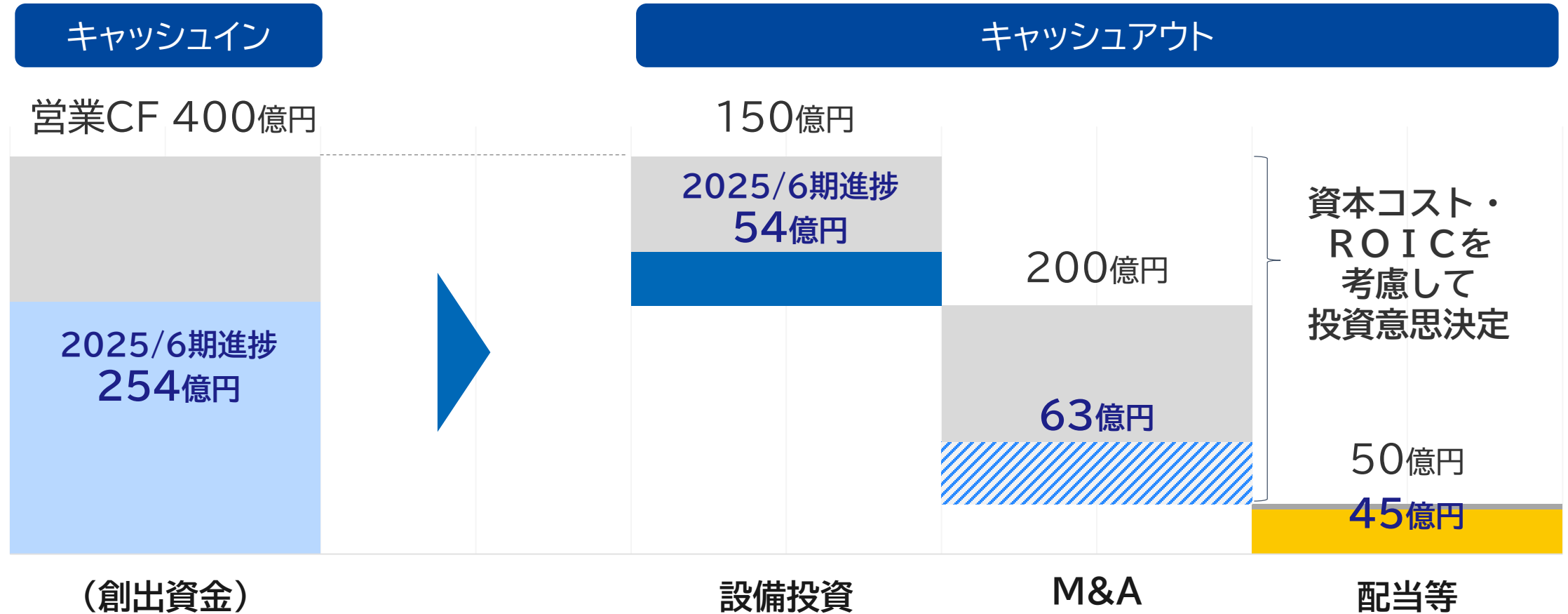
= 「経営の重要課題」の一つ

具体的な施策

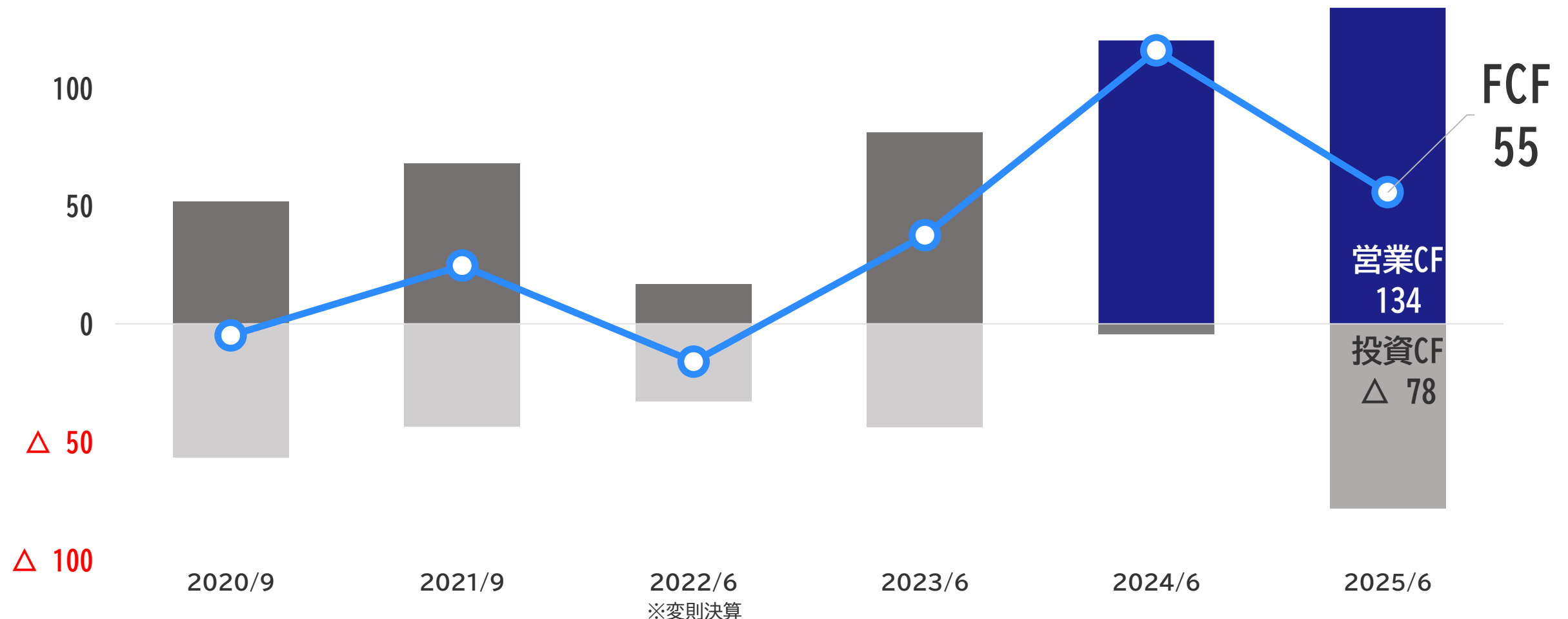
- ① 累進配当の継続
上場以来、累進配当を実施
- ② 剰余金の配当率
DOE(純資産配当率)を主要指標とする
・・・当期純利益の変動が大きいため

キャッシュアロケーション

中計PART-Ⅱ-期間(2024年6月期～2027年6月期)合計額(見込み)に対する進捗



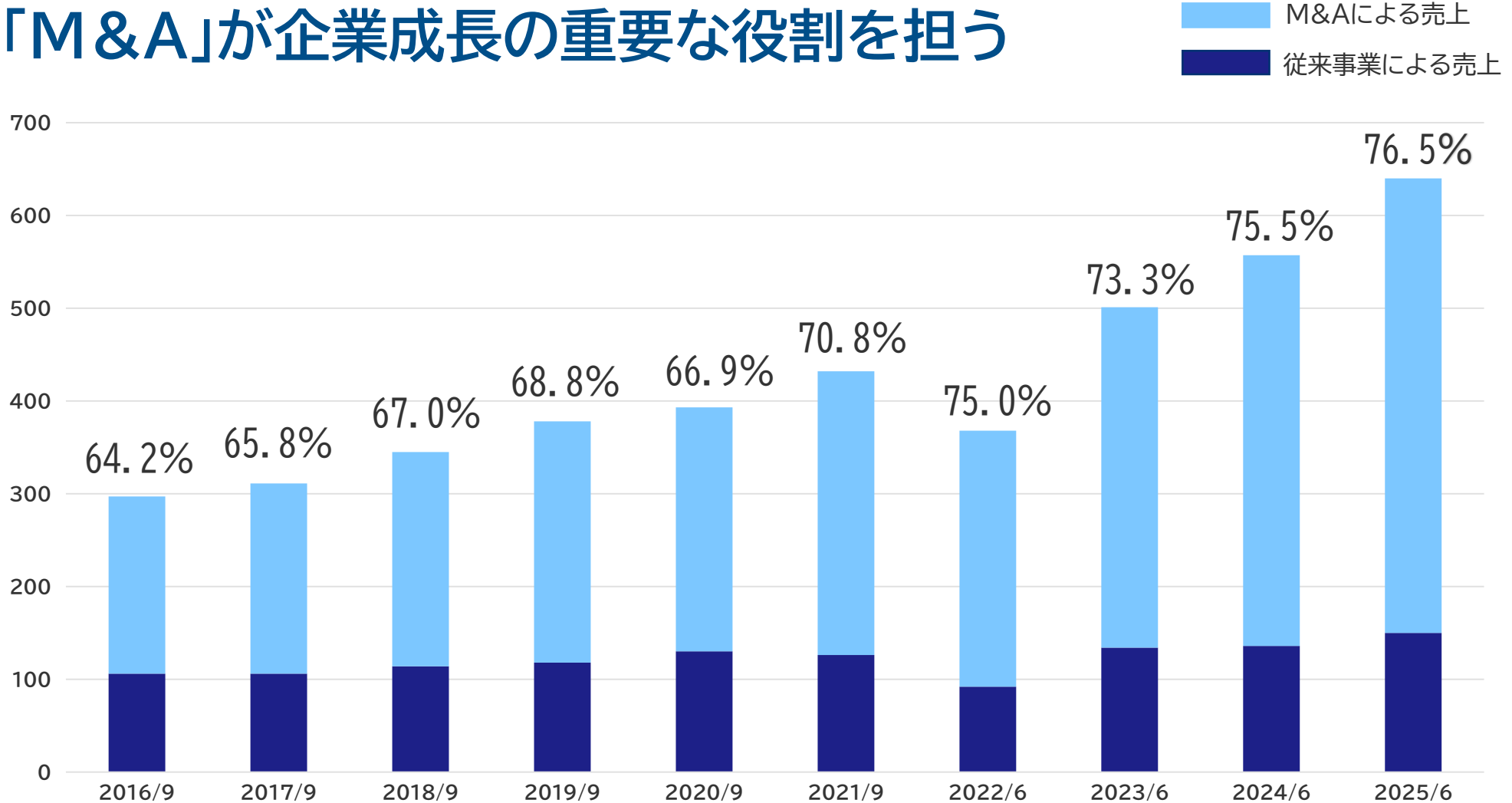
フリーキャッシュフロー(FCF)推移



※フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー－投資活動によるキャッシュ・フロー
※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

連結売上に占めるM&Aの割合

「M&A」が企業成長の重要な役割を担う



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

M&A企業一覧

	取得年	会社名		取得年	会社名		取得年	会社名
1	2002年	太田工業 ※前田工織に合併	8	2013年	ワシ興産、ワシマイヤー ※現 BBSジャパン	15	2021年	セブンケミカル
2	2004年	ゼオン環境資材 ※前田工織が事業譲受け	9	2014年	ダイイチ ※未来コーセンに合併	16	2024年	犀工房
3	2005年	日本不織布 ※日本不織布が事業譲受け、前田工織に合併	10	2015年	オガワテクノ ※未来テクノが事業譲受け	17	2025年	三井化学産資 ※前田工織産資に商号変更
4	2009年	サングリーン ※前田工織に合併	11	2016年	グリーンシステム ※未来のアグリに合併			
5	2009年	マグネ ※前田工織に合併	12	2018年	釧路ハイミール			
6	2011年	北原電牧 ※現 未来のアグリ	13	2019年	沖縄コーセン ※会社設立			
7	2012年	テクノス ※現 未来コーセン	14	2021年	エスケー電気工業 ※現 未来のアグリ			



5 当社の役割と責任(パーパス)

防災対策 新たな段階へ

「本気の事前防災」への取り組み

2010年以降、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等の大規模災害が立て続けに発生 → 自民党で「**防災庁**」の検討

防災＝事態対処・事前対策

特に重要なのは**事前対策の強化**

(国土強靱化に向けた新たな対策事業の編成)



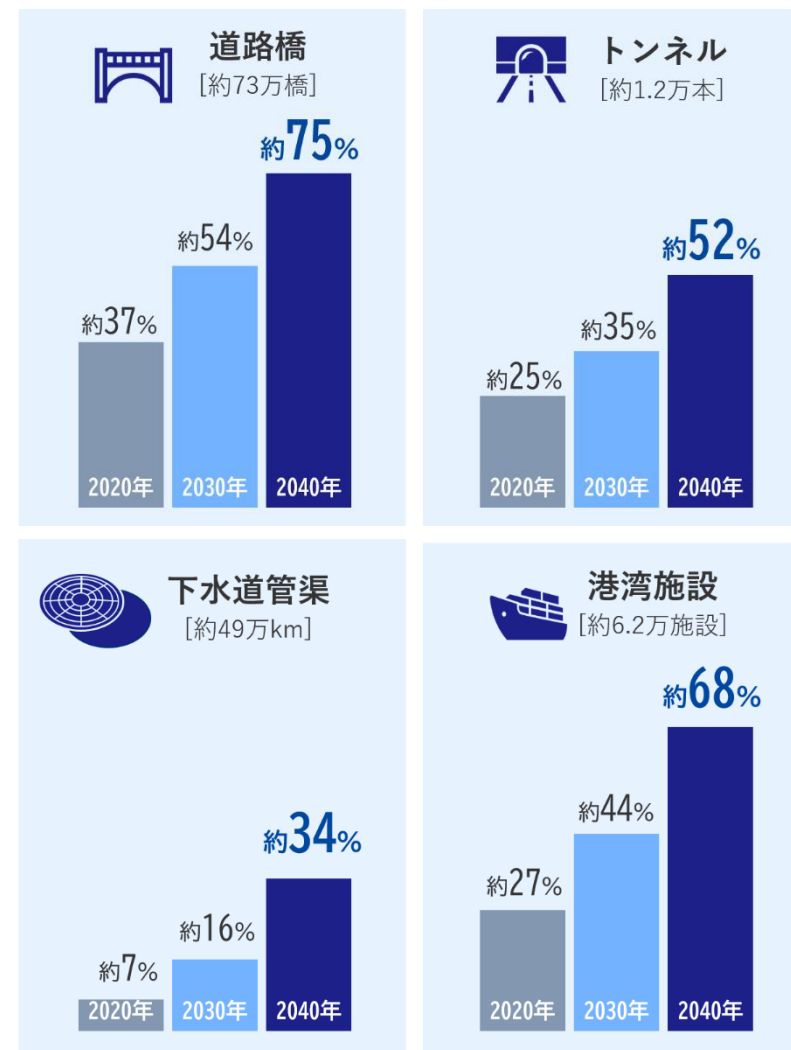
前田工繊グループも

急激な変化に対応した強固な組織
を創っていく



ご参考

建設後50年以上
経過するインフラの割合



国土交通省資料より作成

国土強靱化実施中期計画

強靱化のペース加速

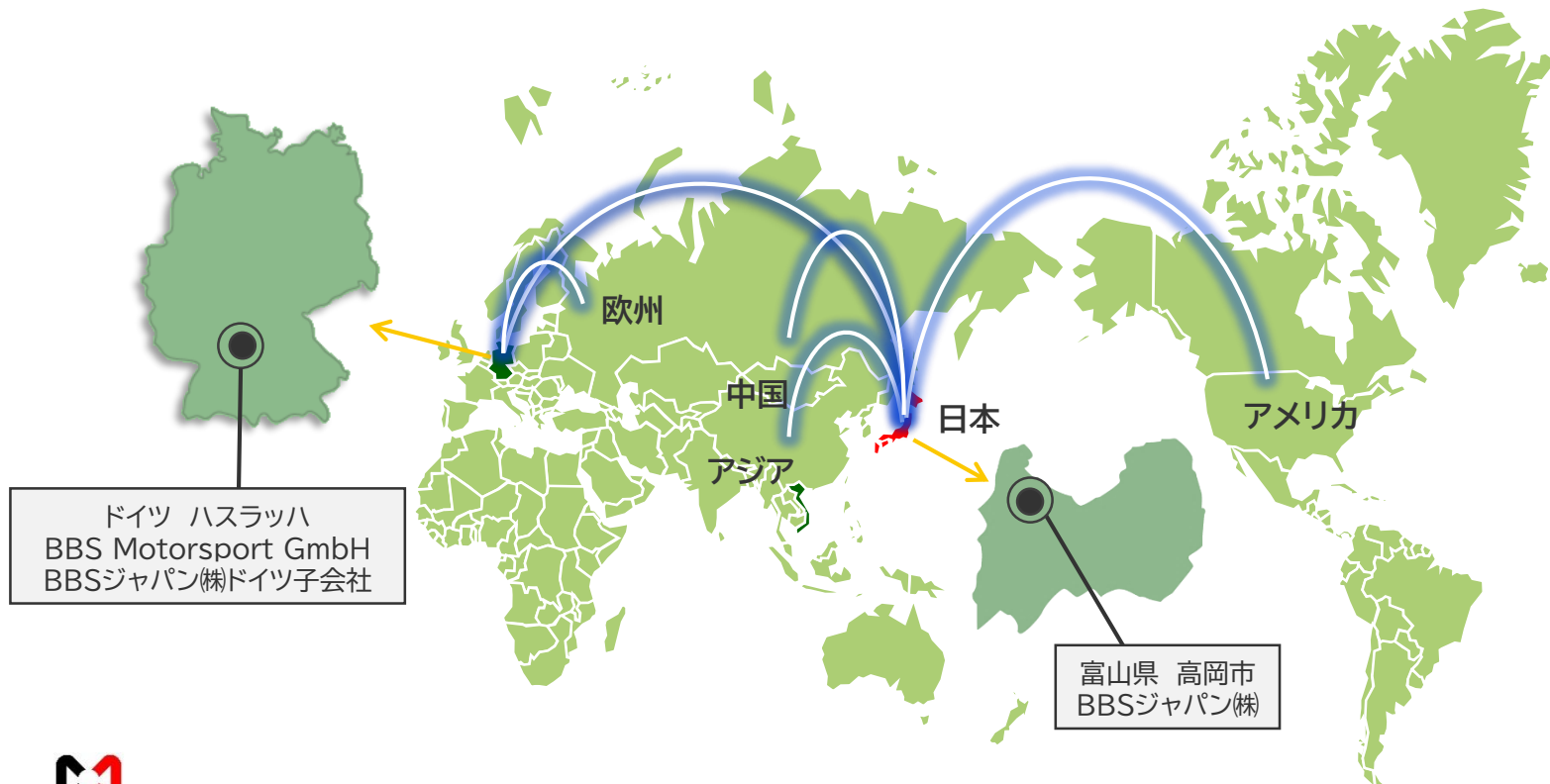
事業年度：2026～2030年度



BBS 地方都市から世界へ

モータースポーツで培った鍛造ホイール技術
→市販ホイールに活かし、世界の自動車メーカーで採用

地方創生の実現

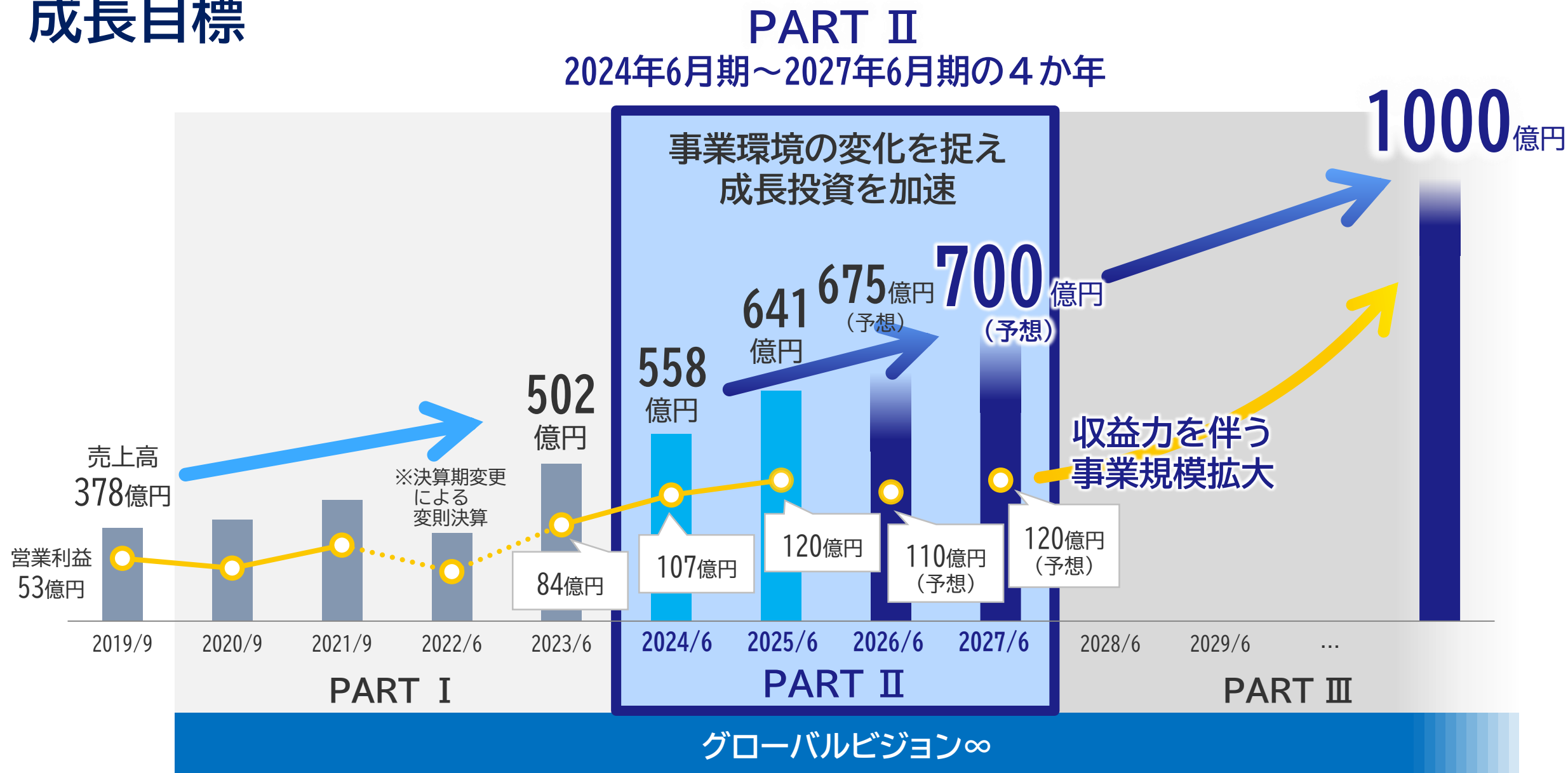




6

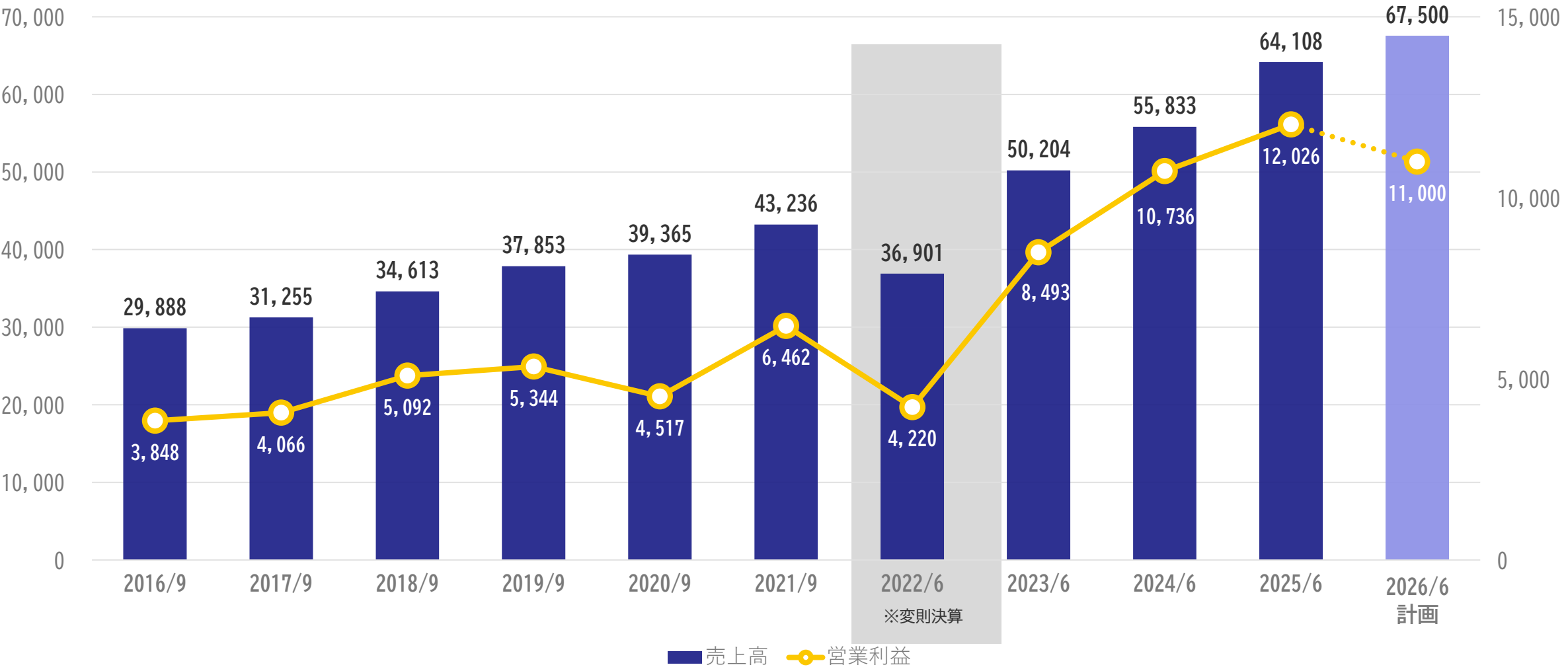
MDKグループ中長期ビジョン
グローバルビジョン∞
- PART II -

成長目標



(単位:百万円)

連結業績推移(売上高・営業利益)



主要戦略

グローバルビジョン∞ 主要戦略(概要)



既存事業の強化と
新規事業進出

設備投資計画 150億円
(4年間合計)



M&A活用による
事業領域拡大

M & A 投資枠 200億円
(4年間合計)



グローバル
ネットワーク拡充

海外売上比率 30%
(2027年度目標)



ESG+H

- 太陽光発電利用拡大
- エンゲージメント強化

数値目標(2024年6月期～2027年6月期)

	2023年6月期 (PART I)実績	2025年6月期 実績	2026年6月期 計画	2027年6月期 計画
売 上 高	502 億円	641 億円	675 億円	700 億円
営 業 利 益	84 億円	120 億円	110 億円	120 億円
E B I T D A	116 億円	155 億円	147 億円	150 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	52 億円	94 億円	76 億円	80 億円
R O E	12.4 %	14.5 %	10.7 %	12 %以上



7

会社概要

企業情報

(2025年6月30日現在)

会 社 名	前田工織株式会社		
本 社	福井本社:福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社:東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代 表 者 名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創 業	1918年	設 立	1972年
決 算	6月30日	資 本 金	6,422百万円
従 業 員 数	1,848人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	68,080,612株 (うち自己株式 1,015,775株)		
証 券 コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単 元 株 数	100株	株 主 総 数	4,298名



福井本社



東京本社

グループ事業内容

ソーシャルインフラ事業

社会のインフラづくり 防災・減災

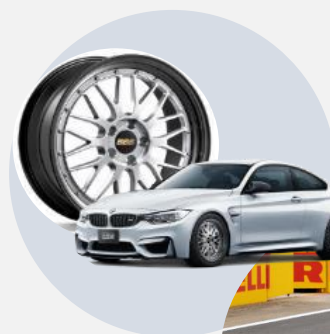


取扱製品

土木・建築資材、配管資材、外壁防水材、獣害対策製品、園芸用ハウス、幼稚園・保育園用備品、遊具、不織布製品、帆布生地製品、フィッシュミール・魚油

インダストリーインフラ事業

産業のインフラづくり 自動車ホイール・産業資材



取扱製品

自動車用鍛造ホイール、精密機器用ワイピングクロス、糸加工、丸編ニットینگ

前田工織グループ

ソーシャルインフラ事業

 前田工織  前田工織産資  沖縄コーセン
MAEDAKOSEN VIETNAM  未来のアグリ  未来テクノ
 セブンケミカル  釧路ハイミール  犀工房

インダストリーインフラ事業

 BBSジャパン  未来コーセン
 BBS Motorsport

前田工繊 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です
混ぜると 化学反応が 起きるのです
「イノベーション」は化学反応の「果実」
世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を
追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人との良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念 【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

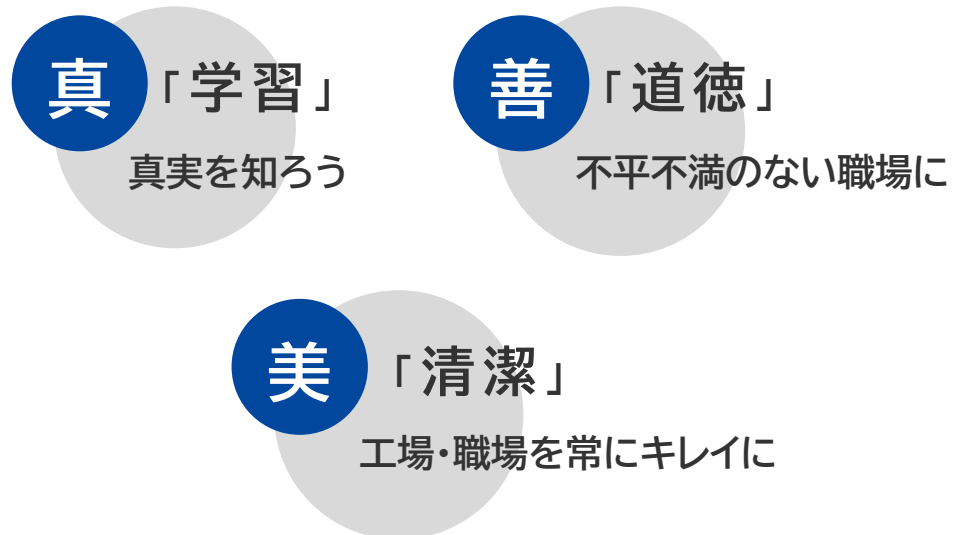
5. 人も企業も学び続けよう。

礼

行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社(組織)づくりへ



判断基準

「SSLQDC」～ この優先順位で判断・行動しよう ～

1 Safety 人の安全と健康

2 Society 地域社会への貢献

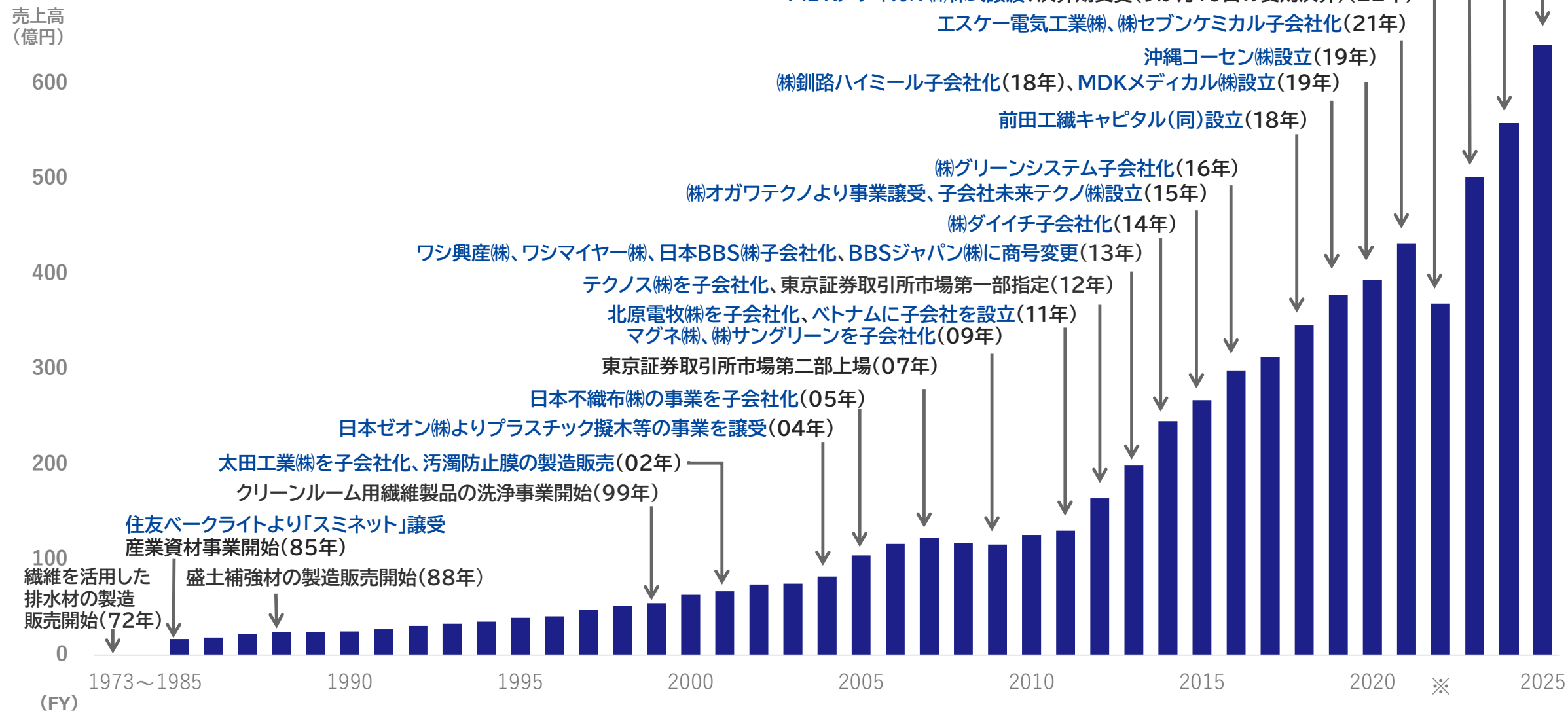
3 Law コンプライアンス・
法令順守・環境保全

4 Quality 品質・信頼性

5 Delivery 納期厳守

6 Cost コスト削減

事業沿革と売上高推移



変則決算



ネットワーク(国内)

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:5ヶ所

福井県

福井本社・本社工場
丸岡工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟営業所
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

前田工織産資
大竹事業所

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所

沖縄コーセン

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場
犀工房 本社

北海道

札幌支店

未来のアグリ
札幌本社
千歳工場

釧路ハイミール 本社

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ 水沢工場・胆沢工場

未来のアグリ 福島本社・瀬上工場

関東

東京本社

前田工織産資

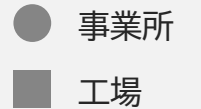
本社
埼玉事業所

未来テクノ 東京本社

セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社

前田工織キャピタル合同会社 東京本社



ネットワーク(海外)



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 経営管理本部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>